



11月24日(土)高津高校創立100周年記念式典が、第一部グランキューブ大阪、第二部リーガロイヤルホテルで行われました。

第一部は、生徒・保護者が中心。卒業生は2階席に陣取る形。セレモニーは、学校長、教育長の挨拶の後、100周年記念実行委員長の岡藤さんのビデオ挨拶で締めくくられた。その後、大型スクリーンに「高津のDNA」と題された「高津の歴史」が映し出された。高津の校是である「自由と創造」がいかに創られてきたか、いかに具現されてきたか、いかに受け継がれてきたか、がまとめられていた。

セレモニーの後が、生徒の発表である。まずは、ダンス部。「LOCK」という踊りだそう。音楽の「ROCK」ではなく、「錠」を意味し、激しい動きから突然静止しポーズを取るダンスらしい。以前発表会でカッコいいダンスを見たが、本番でもキレイのダンスを披露してくれた。二人男子がいて、抜群の切れをみせていたのが、顧問の先生のような。

圧巻だったのが、「ハレルヤ」。合唱部、アンサンブル部、吹奏楽部、総勢280名が舞台上に。続いてベルディ作曲の歌劇「アイダ」。なかに「凱旋のマーチ」を吹くためのファンファーレトランペット「アイダトランペット」が使われていた。吹奏楽部の先輩が広島かどこかで借りてこられたらしいが、その音色が美しかった。

第二部は、場所を替えて、リーガロイヤルホテル。予想をはるかに超える申し込みがあり、当初予定していた着席ではなく、立食となった。元気な世代?の私たちでも、3時間あまりのスタンディングは堪える。総勢600名を超え、21期だけでも、40名以上の参加があったように思う。さながらミニ同期会であった。北海道から青木山君。東京から、金光君、藤井君、永田君、今西さんも駆けつけてくれた。

締め切り間近まで申し込みが少なく、動員をお願いすると、たくさんの方に申し込んでいただき、ありがとうございました。ところが、動員をお願いしておきながら、直前に断られた方もいた。ほんとうに申し訳ありませんでした。

簡単ですが、高津高校創立100周年記念式典について報告させていただきます。

